



第13回使節団員と韓国・水原市青少年育成財団のホストファミリー・関係者との記念写真

【特集】 第13回 ゆふいん～アジア ふれあい交流子ども使節団 「日韓交流の旅」韓国・水原訪問日記 2014年8月7日(木)～10日(日)

第13回ふれあい交流使節団が8月7日から4日間の日程で韓国の水原市を訪問し、無事に帰国しました。交流先は水原市青少年育成財団。3泊4日の旅程で、2泊は韓国・水原市でのホームステイ。現地の家族と生活を共にしながら交流をしてきました。**世界文化遺産の水原華城にある孝園の鐘。3つの願いを込めて鐘を打ちました。**

「孝園の鐘」は孝の精神を広め、家族の健康と国の平安を祈願する水原市民の願いを込めて作られた鐘です。第1の鐘は親の恩恵を思い、孝について考え、第2の鐘は家族の健康と和合を願い、第3の鐘は自己の発展と念願成就を祈願します。子ども達1人ひとりの願い、鐘の音がまち中に響き渡りました。**水原市内の勸善高校を訪問して校舎や学校生活の様子、授業風景を見学しました。**

英語、中国語、アラビア語、ベトナム語、そして日本語。外国語の習得を強化するクラス毎に校舎のフロアが分かれていました。日本と異なるところを発見できました。

子ども使節団の11名が6組に分かれて、水原市のご家庭でホームステイをしました。

初日の歓迎式でホストファミリーと初対面。子ども達は様々な生活や文化の違いに触れながら、家族の一員として過ごしました。



世界文化遺産の水原華城の高台にある「孝園の鐘」の前で記念写真



勸善高校で記念撮影



ホストファミリーとの楽しい会食

8月7日(木) 韓国・水原市の文化に触れ学ぶ日(1日目)

- 7:30 出発式
- 11:30 福岡空港発
- 12:50 仁川空港着
- 14:30 SAMSUNGイノベーション
ミュージアム視察
- 17:30 歓迎会
- 21:00 ホテルキャッスル宿泊

歓迎会では、ゆふいんの町、湯布院中学校の紹介を、勉強してきた韓国語でしました。けん玉を披露し、記念品として贈呈しました。



子ども使節団の出発式。出発の決意表明です。



SAMSUNGの本社を訪問。最先端の電子機器を見学。

8月8日(金)水原市 心の交流を体験する日(2日目)

- 9:00 勸善高校視察
- 11:00 エバーランド訪問
- 18:00 ホームステイ(1日目)

勸善高校の部活動は84種類もあり、とても驚きました。日本語を熱心に勉強しているクラスでは、日本の様々な文化が紹介されていました。

エバーランドでは広い敷地を駆け巡り、たくさんの乗り物に乗りました。いつの間にかとっても仲良し!



勸善高校を見学。韓国の高校生活を見学しました。エバーランドで絶叫マシンに乗って遊びました。



8月9日(土)水原市 心の交流を体験する日(3日目)

- 9:00 世界文化遺産・水原華城見学
地元の市場を見学
文化空間イルパ見学(1月の湯布院訪問の時の写真展を観覧)
- 14:30 買い物体験(Eマート、デパート)
- 16:00 スポーツ交流活動(バスケットボール、卓球、バドミントン)
K-POPダンスのレッスン
- 18:00 ホームステイ(2日目)

水原華城の見学は小高い丘をみんなで一緒に歩きました。伝統的な建築物や門を見学。買い物体験では地元の市場やスーパー、デパートで買い物に挑戦しました。

スポーツ交流。グループ毎に分かれて体を動かしながら仲良くなりました。K-POPの本格的なダンスレッスンは圧巻でした。



水原華城で文化に触れ、たくさん歩きました。



スーパーやデパートでお土産を買いました。



スポーツ交流・一緒になって体を動かしました。K-POPのダンスレッスン。とても高度で貴重な体験。



8月10日(日) 韓国・水原市を楽しみ、振り返る日(4日目)

- 9:00 韓国料理づくり
(焼き肉サンバブ、伝統もち)
- 14:00 仁川空港発
- 15:20 福岡空港着
- 17:30 解団式

いよいよ最後の交流プログラム。みんなで一緒に料理づくり。作った料理を昼食として美味しくいただきました。とても充実した4日間でした。今度は来年の1月に水原市の子ども達が湯布院へやってきます!



韓国料理で共同作業。ブルゴギを炒めています。



帰国前の仁川空港。お土産もたくさん買いました。

第三回 東勝吉賞水彩画公募展

陽はまた昇る
-83歳からの出発-

Dedication to Katsukichi Higashi
The 3rd Watercolor open call for participants exhibition
"The Sun Rises Again"

2014年9月25日(木)~10月24日(金)

時間 8:30~19:00 (最終日16:00まで)

場所 由布院駅アートホール



東勝吉/川西からみた由布山 © 由布院アートストック

この水彩画公募展、最大の特徴は、「83歳以上じゃないと応募できない」という年齢制限にあります。

なぜ、83歳なのか？ それは、我らがヒーロー「東勝吉じいちゃん」が初めて絵筆を執った年齢だからです。

小学生の頃、「泥棒を捕まえたおまわりさんの絵を先生に褒められた」

カツキチさんは、爺ちゃんになって由布院に移り住み、83歳から99歳で亡くなるまで、水彩画を毎日夢中で描き続けられました。最初は集団生活になじめず、心配した老人ホームの理事長が「生きがいにゃれば」と、絵具を贈ったのをきっかけに、カツキチさんの内に長年眠っていた「絵を描きたい、褒めてもらいたい」という思いに火が付きまして。「このまま長生きしても、誰からも喜んでもらえない・・・」ひとりぼっちのそんな寂しさが、やがて生きるという希望に変わっていったのです。

それこそが「83歳を過ぎても『陽はまた昇る』」という私たちがカツキチさんに教わったことです。

私たちの「ゆふいん」は人と人との繋がりを大切にする「人づくりの町」です。

83歳を過ぎてますます元気な皆さんの「誇り高き人生」を何より大切に考え、応援したいのです。

東勝吉賞水彩画公募展実行委員会 実行委員長 測上眞幸

全国・世界から55点+特別展示1点
平均年齢89.3歳の作品が集まりました!!



ワイランド秋子
秋の紅葉
(91)



式久恵/矢車ぶし(99)



倉員正之/疲れ鶯の細きうなじを伸ばしけり(95)

●関連企画

馬から繋がる町の散歩道

2014年11月1日(土)~30日(日)

由布院駅アートホールでの展覧会終了後、湯布院町内の旅館やギャラリー等に展示します。駅から広がるアートを巡って、由布院の風に触れてみてください。

■同時開催

東勝吉常設館

時間 10:00~17:00

入場無料

場所 高齢者福祉総合センター
ぬくみえん
温水園 大ホール内
湯布院町川北 1964

※常設館は無人です、温水園の入口で受付をしてお入り下さい



東勝吉/ハナウリムスコ



◎オレンジの建物が目印です

- ◆主催 東勝吉賞水彩画公募展実行委員会
- ◆共催 九州旅客鉄道株式会社 大分支社・由布市・NPO 法人 由布院アートストック・ゆふいんアート委員会
- ◆協賛 新日本製薬株式会社
- ◆協力 一般社団法人由布院温泉観光協会・由布院温泉旅館組合・公益財団法人人材育成ゆふいん財団・由布院郷-YUFUIN GO-

■HP <http://yufuinartstock.com>

■facebook [facebook.com/r83suisaiyufuin](https://www.facebook.com/r83suisaiyufuin)

■問合せ 東勝吉賞水彩画公募展実行委員会
大分県由布市湯布院町川北8-2 由布院駅アートホール
0977-84-4678

例えば・・・このような活動や取り組みに活用することができます。

子ども・大人・高齢者など
人づくりのために行う活動

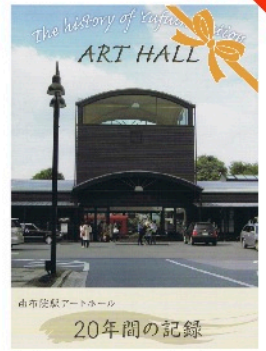
- 育成会・子ども会において
記念の行事・お祭りを行いたい！
- 保護者向けの講演会の講師
を呼びたい！
- 健康づくりイベントのゲスト
を呼び、チラシで参加者
を集めたい！
- 自主的な勉強会や教室を開
催したい！



ゆふいん児童クラブの感謝祭で行われたワークショップの講師謝金や旅費、送料について助成しました。

音楽・芸術・スポーツなどの
文化活動

- 記念講演の開催にあつて
講師を呼びたい！
- これまでの活動を振り返る
記録誌をつくりたい！
- これまで手掛けてきた作
品をまとめたい！
- 文化公演の機会を誘致
したい！



ゆふいんアートホールの「由布院駅アートホール20周年記念誌」の印刷製本費について助成をしました。

助成金交付の 上限額と使途

- ・年間の一団体あたり、総額：30万円を上限額とします。
- ・平成26年4月1日から平成27年3月31日までに進行活動とします。
- ・採択された事業の領収書に対して、助成金を支払います。

手続き等の詳細に関しては、どうぞお気軽にご相談下さい。

人材育成ゆふいん財団 掲示板

- (1) 一般寄附金としてご寄付をいただきました。
- ・佐藤秀信さま(岳本)より(香典返しとして)

100,000円

温かいご厚意ありがとうございました。公益目的事業1・2の推進、充実に有意義に活用させていただきます。

- ・小野清子さま(新町2)より(香典返しとして)

50,000円

温かいご厚意ありがとうございました。公益目的事業1・2の推進、充実に有意義に活用させていただきます。

- (2) 国際交流事業・第13回ふれあい交流使節団への寄附金

- ・お餞別として

50,000円

温かいご厚意ありがとうございました。現地での交流費等に、有意義に活用させていただきました。

公益目的事業 1

市民の0歳から100歳までの学びを奨励、援助する事業

公益目的事業 2

市民の実践活動の促進を援助する事業

編集後記

今号は、韓国・水原市訪問のレポートを皆様にご紹介いたしました。今回のレポート以外にも、使節団の子ども達には、旅の報告として壁新聞や作文を書いてもらいました。どれも力作でとても貴重な経験になったことが、子ども達の文面から伝わりました。

そうしたすばらしい壁新聞や作文もこの財団ニュースに掲載し、紹介したいのですが、編集の都合上、どうしてもできずに残念です。

現在、ゆふいん財団では、この財団ニュースの掲載内容について検討を重ねているところです。限られた紙面内でより内容を充実させ、親しみを持たれるように、知恵を絞っています。少しでも団体や個人の活躍をご紹介していけたらと考えております。皆さんからのアドバイスも受け付けています。詳しくは次号で。(事務局・大澤直彦)

財団ニュース掲載記事の検討(案)

- 掲載記事を市民公募
- 写真や絵、川柳や俳句のご紹介
- 自主企画イベントのお知らせ
- まちのレポート・日記

など、現在検討しております。

[人材育成ゆふいん財団事務局]

住所/湯布院町川上2863

TEL/85-4748 FAX/85-4759

E-mail: info@yufuin-zaidan.jp

H.P: http://www.yufuin-zaidan.jp

[発行日] 2014年10月10日

[発行] 公益財団法人人材育成ゆふいん財団

[発行人] 溝口薫平

[編集責任者] 霜野圭一

[編集] 人材育成ゆふいん財団企画委員会

みらいしんきんは人材育成ゆふいん財団の市民の実践活動への情報・ネットワーク事業を応援します



みらい信用金庫

URL <http://www.oitamirai.co.jp/>